

授業科目名	聴覚系の構造機能病態		授業形態	講義	担当学期	1年（前期）
担当教員名	岡田 健太郎		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 聴覚系の解剖や機能を中心に、検査法についても概説します。</p> <p>〔学習目標〕 聴覚系の解剖と機能について理解し、代表的な検査方法について理解することを目標とします。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	p2 オリエンテーション・外耳 耳介、外耳道、外耳道の音響特性と共鳴効果					
第 2 回	p4 中耳 鼓膜、鼓室、耳管、耳小骨、鼓室筋					
第 3 回	p7 内耳 骨迷路、膜迷路、ラセン(コルチ)器					
第 4 回	内耳 聴覚伝導路、両耳聴					
第 5 回	p16難聴 伝音性難聴、感音性難聴、混合性難聴、後迷路性難聴①					
第 6 回	難聴 伝音性難聴、感音性難聴、混合性難聴、後迷路性難聴②					
第 7 回	p20グループワークー問題作成ー①					
第 8 回	グループワークー問題作成ー②					
第 9 回	p21聴力検査 オーディオグラム、純音聴力検査(気・骨導)、マスキング					
第 10 回	聴力検査 自記オーディオメトリ、ABLB検査、DL検査、SISI検査					
第 11 回	p30語音聴力検査 語音了解閾値検査、語音弁別検査、語音了解度検査					
第 12 回	p33インピーダンス・オーディオメトリ、ティンパノメトリ、音響性耳小骨筋反射検査					
第 13 回	p36他覚的聴力検査 蝸電図、聴性脳幹反応、聴性定常反応、耳音響放射①					
第 14 回	他覚的聴力検査 蝸電図、聴性脳幹反応、聴性定常反応、耳音響放射②					
第 15 回	p41まとめ					
評価方法	定期テスト80%、提出物20%					
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 聴覚検査の実際 南山堂</p> <p>〔参考図書〕 言語聴覚学の解剖生理 ゼムリン 医歯薬出版：必要部分をコピー配布。</p>					
履修上の 留意点	他の聴覚系教科と内容が大幅に重複します 配布資料は1冊にまとめ、シラバスにページ番号を記載した					
メッセージ	耳の構造から検査の概要までを行います。検査の練習は他の教科で行います。 この授業でしっかり理解しておきましょう。					